

第十四回 貴族院議事速記録第三十號

帝國議會 貴族院議事速記録第三十號

明治三十三年二月二十一日(水曜日)

議事日程 第三十號 明治三十三年二月二十一日

午前十時開議

- 第一 傳染病豫防救治ニ從事スル者ノ手當 第一讀會ノ續(特別委員) (長報告)
 - 第二 金ニ關スル法律案(議院送付) 第一讀會
 - 第三 社寺上地林處分法案(衆議院提出) 第一讀會
 - 第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
 - 第五 混成酒稅法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會
 - 第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
 - 第七 市制町村制中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會
 - 第八 酒造稅法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會
 - 第九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
 - 第十 登錄稅法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會
 - 第十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
 - 第十二 明治二十二年法律第三十四號中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會
 - 第十三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
 - 第十四 國字國語國文ノ改良ニ關スル建議案(注新) 會議(前會ノ續特別) (外二名) (委員長報告)
- 議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ報告ヲ致シマス
- 〔小原書記官朗讀〕
- 昨二十日左ノ成案ヲ可決シタル旨衆議院ニ通知セリ
- 郵便法案兩院協議會成案
- 明治三十三年度歲入歲出總豫算追加案(第一號)及豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)兩院協議會成案
- 同日左ノ政府提出案ハ內閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奏請セリ
- 郵便法案

貴族院議事速記録第三十號

明治三十三年二月二十一日

議長ノ報告

傳染病豫防救治ニ從事スル者ノ手當金ニ關スル法律案第一讀會ノ續

六七一

明治三十三年歲入歲出總豫算追加案(第一號) 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)

同日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日內閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奏請シ及可決ノ旨衆議院ニ通知セリ

農工銀行補助法中改正法律案

同日衆議院ヨリ政府提出感化法案ヲ受領セリ

同日衆議院提出外國ヨリ輸入スル鹹魚燻製魚及魚粕ニ關スル法律案ヲ受領セリ

同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル政府提出日本動產銀行法案ノ回付ヲ受ケタリ

衆議院議員選舉改正法律案兩院協議會ニ於テ議長ニ侯爵黑田長成君、副議長ニ子爵堀田正養君當選セラレタリ

委員長副委員長左ノ通當選セラレタリ

明治三十年法律第三十九號中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵吉井 幸藏君 副委員長 子爵平松 時厚君

市制中改正法律案外一件特別委員會

委員長 伯爵清棲 家教君 副委員長 千坂 高雅君

舊斗南藩士族家祿處分法案特別委員會

委員長 公爵二條 基弘君 副委員長 岡内 重俊君

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ本日ノ日程ニ移リマス

〔三浦安君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 三浦君ハ何デスカ

○三浦安君 東京市區改正條例中改正法律案ノ委員會ヲ開キタウゴザイマス

是ヨリ退席シテ宜シウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

〔子爵曾我祐準君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 曾我子爵ハ何デスカ

○子爵曾我祐準君 教育所ニ在ル孤兒ノ後見職務ニ關スル法律案ノ委員會ヲ今朝來開イテ居リマス、ドウア引續キ開キタウゴザイマス、尤モ委員ハ一人

モコチラニハ出テ居リマセヌ

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス、傳染病豫防救治ニ從事スル者

ノ手當金ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告

〔子爵谷干城君演壇ニ登ル〕

○子爵谷干城君 唯今議題ニ上ボッテ居リマスル議案ハ僅ニ七條、誠ニ簡單ナ案デゴザイマスル、御承知ノ通り是ハ其最モ恐ルベキ近來此渡來シマシタベ...

- 子爵小笠原壽長君 贊成
○子爵本莊壽巨君 贊成
○男爵金子有卿君 贊各
○森山茂君 贊成
○男爵生駒親忠君 贊成
○田村耕平君 贊成

○鳥越貞敏君 贊成
○關義臣君 贊成

〔其他「贊成」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 讀會省略ノ動議ガ成立チマシタ、之ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 三分ノ二以上ト認メマス、讀會ハ省略シマス、本案ニ御異議ガナケレバ原案ニ決シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○村田保君 本員ハ緊急動議ヲ起シタイト思ヒマス、此感化法案デゴザイマス、今日提出ニナリマシタ感化法案デゴザイマスガ、政府案デゴザイマスガ、極ク必要ナ法案デゴザイマシテ、會期ガ切迫シテ居リマスカラ議事日程ヲ變更セラレマシテ直チニ第一讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○久保田讓君 村田君ニ贊成ヲ致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 村田君ノ動議ハ御分リニナリマシタカ

○森山茂君 チョイト分リマセヌ

○議長(公爵近衛篤磨君) 政府ヨリ提出ニナッタ感化法案ヲ此際第一讀會ヲ開キタイト云フコトデゴザイマス、御異議ガナケレバ...

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 感化法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ載録ス以下之ニ同シ〕

感化法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十三年二月二十日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

感化法案

- 第一條 北海道及府縣ニハ感化院ヲ設置スヘシ
第二條 感化院ハ地方官之ヲ管理ス
第三條 感化院ニ關スル經費ハ北海道及沖繩縣ヲ除クノ外府縣ノ負擔トス
第四條 北海道及府縣ニ於テハ其ノ區域内ニ團體又ハ私人ニ屬スル感化事

業ノ設備アルトキハ内務大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ感化院ニ代用スルコトヲ得

代用感化院ニ關シテハ本法ノ規定ヲ準用ス

第五條 感化院ニハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヲ入院セシム

一 地方長官ニ於テ滿八歳以上十六歳未滿ノ者之ニ對スル適當ノ親權ヲ行フ者若ハ適當ノ後見人ナクシテ遊蕩又ハ乞丐ヲ爲シ若ハ惡交アリト認メタル者

二 懲治場留置ノ言渡ヲ受ケタル幼者

三 裁判所ノ許可ヲ經テ懲戒場ニ入ルヘキ者

第六條 入院者ノ在院期間ハ滿二十歳ヲ超ユルコトヲ得ス但シ第五條第三號ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラス

第七條 地方長官ハ何限ニテモ條件ヲ指定シテ在院者ヲ假ニ退院セシムルコトヲ得

假退院者ニシテ指定ノ條件ニ違背シタルトキハ地方長官ハ之ヲ復院セシムルコトヲ得

第八條 感化院長ハ在院者及假退院者ニ對シ親權ヲ行フ

在院者ノ父母又ハ後見人ハ在院者及假退院者ニ對シ親權又ハ後見ヲ行フコトヲ得ス

第五條第二號及第三號ニ該當スル者ノ財産ノ管理ニ關シテハ前二項ノ規定ヲ適用セス

第九條 感化院長ハ命令ノ定ムル所ニ依リ在院者ニ對シ必要ナル檢束ヲ加フルコトヲ得

第十條 行政廳ハ第五條第一號ニ該當スヘキ者アリト認メタルトキハ之ヲ地方長官ニ具申スヘシ此ノ場合ニ於テハ假ニ之ヲ留置スルコトヲ得

前項留置ノ期間ハ五日ヲ超ユルコトヲ得

第十一條 地方長官ハ在院者ノ扶養義務者ヨリ在院費ノ全部又ハ一部ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ費用ヲ指定ノ期限内ニ納付セサル者アルトキハ國稅徵收法ノ例ニ依リ處分スルコトヲ得

第十二條 在院者ノ親族又ハ後見人ハ在院者ノ退院ヲ地方長官ニ出願スルコトヲ得

前項出願ノ許可ヲ得サル在院者ニ關シテハ六箇月ヲ經過スルニ非サレハ

退院ヲ出願スルコトヲ得ス

第十三條 第五條第一號又ハ第十一條第二項ノ處分ニ不服アル者又ハ第十二條第一項ノ出願ヲ許可セラレサル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得

附則

第十四條 本法施行ノ期日ハ府縣會ノ決議ヲ經テ地方長官ノ具申ニ依リ内務大臣之ヲ定ム

第十五條 北海道沖繩縣ニ關シテハ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ハ如何デゴザイマセウカ、突然出タコトデゴザイマスカラ政府委員モ參ッテ居リマセヌ、取敢ヘズ委員ノ選舉ダケヲ致シテ置イタラ……

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) ソレデハ委員ノ選舉ハ議長指名デ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 社寺上地林處分法案、衆議院提出、第一讀會

社寺上地林處分法案

右本院提出案及送付候也

明治三十三年二月十五日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

社寺ノ上地ニシテ不要存置ニ屬スル森林ノ拂下ハ時價ノ半額ヲ以テ其ノ社寺ニ賣拂フコトヲ得

附則

本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○議長(公爵近衛篤磨君) 此委員モ議長指名デ宜シウゴザイマスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 混成酒稅法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

混成酒稅法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

明治三十三年二月十九日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

混成酒稅法中左ノ通改正ス

第二條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

特ニ製造場ヲ設ケス店頭其ノ他ノ場所ニ於テ混成酒ヲ製造シテ販賣スル者ニハ造石稅ヲ課セス製造稅トシテ販賣所一箇毎ニ每月金五圓ヲ課ス

第四條ニ左ノ一項ヲ加フ

製造稅ハ開業ノ月ヨリ廢業ノ月マテ毎月之ヲ徵收ス

第四條ヲ第四條ノ一トシ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第四條ノ二

特ニ製造場ヲ設ケスシテ混成酒ヲ製造スル者ハ販賣ノ場所ヲ定メ其ノ場所毎ニ政府ノ免許ヲ受クヘシ其ノ製造ヲ廢止スルトキハ免許ノ取消ヲ求ムヘシ

前項ノ免許ヲ受ケタル者ハ混成酒ノ卸賣ヲ爲スコトヲ得ス

第五條中「混成酒ヲ製造スル者」ノ上ニ「製造場ヲ設ケ」ヲ加フ

第六條第四條ノ二第一項ニ依リ免許ヲ受クベキ者免許ヲ受ケスシテ混成酒ヲ製造シタルトキ八十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四條ノ二第二項又ハ第五條ヲ犯シタル者ハ五百圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

處ス

第七條酒造稅法第二條、第七條、第八條、第十一條、第十二條、第十三條、第十四條、第十五條、第十六條、第十八條、第十九條、第二十二條、第二十四條、第二十五條、第二十八條、第二十九條、第三十條、第三十一條、第三十二條、第三十四條、第三十五條、第三十六條ハ混成酒ノ製造ニ適用ス但シ製造場ヲ設ケスシテ混成酒ヲ製造スル者ニハ第十九條、第二十九條、第三十條、第三十一條、第三十二條、第三十四條、第三十五條ヲ除クノ外ハ適用セス

酒造稅法中一酒造年度トアルハ混成酒ニ關シテハ曆年トス

〔政府委員目賀田種太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(目賀田種太郎君) 衆議院ノ送付ニ係ル此案ハ至極時宜ニ適シタル必要ナル案ト考ヘマス、政府ハ同意ノ事ヲ申シテ置キマス、成ルベク速ニ成立セムコトヲ希望致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 是モ議長指名デ宜シウゴザイマスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 市制町村中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

市制町村制中改正法律案

右本院提出案及送付候也

明治三十三年二月十九日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

酒造稅法中左ノ通改正ス

第四十條 酒類ヲ製造スル者ハ府縣郡市若ハ稅務署管内チ一區域トシテ酒造組合ヲ設ケヘシ但シ土地ノ狀況ニ依リ數郡市若ハ數稅務署管内チ一區域ト爲スコトヲ得

〔政府委員目賀田種太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(目賀田種太郎君) 衆議院送付ノ此案ハ現行法ノ不備ヲ補ヒマシテ最モ必要ナル案ト考ヘマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 此案ハ混成酒稅法中改正案ト同一ノ委員デ御異議

○議長(公爵近衛篤磨君) 是モ議長指名デ宜シウゴザイマスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 市制町村中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

市制町村制中改正法律案

右本院提出案及送付候也

明治三十三年二月十九日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

市制町村制中左ノ通改正ス

市制第二百二十二條第三號中「地租七分ノ一」チ地租五分ノ一ニ改ム

町村制第二百二十六條第三號中「地租七分ノ一」チ「地租五分ノ一」ニ改ム

○議長(公爵近衛篤磨君) 此委員ハ市制中改正法律案ト同一委員デ宜カラウト思ヒマスガ如何デゴザイマスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 酒造稅法中改正法律案衆議院提出、第一讀會

酒造稅法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

明治三十三年二月十九日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

酒造稅法中左ノ通改正ス

第四十條 酒類ヲ製造スル者ハ府縣郡市若ハ稅務署管内チ一區域トシテ酒造組合ヲ設ケヘシ但シ土地ノ狀況ニ依リ數郡市若ハ數稅務署管内チ一區域ト爲スコトヲ得

組合ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

〔政府委員目賀田種太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(目賀田種太郎君) 衆議院送付ノ此案ハ現行法ノ不備ヲ補ヒマシテ最モ必要ナル案ト考ヘマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 此案ハ混成酒稅法中改正案ト同一ノ委員デ御異議

○議長(公爵近衛篤磨君) 此案ハ混成酒稅法中改正案ト同一ノ委員デ御異議

○議長(公爵近衛篤磨君) 此案ハ混成酒稅法中改正案ト同一ノ委員デ御異議

○議長(公爵近衛篤磨君) 此案ハ混成酒稅法中改正案ト同一ノ委員デ御異議

○議長(公爵近衛篤磨君) 此案ハ混成酒稅法中改正案ト同一ノ委員デ御異議

○議長(公爵近衛篤磨君) 此案ハ混成酒稅法中改正案ト同一ノ委員デ御異議

ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フアリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 登録税法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

登録税法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

明治三十三年二月十九日

衆議院議長片岡健吉

登録税法中左ノ通改正ス

第十九條第二號ヲ左ノ如ク改ム

府縣郡市町村其ノ他公共團體ニ於テ公用ニ供スル不動産ノ登記
同條第三號中「公園、」ヲ削ル

○議長(公爵近衛篤磨君) 是モ御異議ガナクバ議長ニ於テ指名致シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 明治二十二年法律第三十四號中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

明治二十二年法律第三十四號中改正法律案

右本院提出案及送付候也

明治三十三年二月十九日

衆議院議長片岡健吉

明治二十二年法律第三十四號中左ノ通改正ス

第一條 決闘ヲ挑ミタル者又ハ其挑ニ應シタル者ハ十一日以上一月以下ノ

重禁錮又ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二條 決闘ヲ行ヒタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮又ハ四圓以上四十

圓以下ノ罰金ニ處ス

第三條 決闘ニ依テ人ヲ殺傷シタル者ハ刑法ノ歐打創傷ノ罪ニ照シテ處斷

ス

第四條第一項中「一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ

罰金ヲ附加ス」ヲ「十一日以上二月以下ノ重禁錮又ハ五圓以上五十圓以下

ノ罰金ニ處ス」ニ改ム

貴族院議事速記録第三十號

明治三十三年二月二十一日

登録税法中改正法律案 第一讀會

國字國語國文ノ改良ニ關スル建議案 會議ノ續

六七五

第六條 削除

○議長(公爵近衛篤磨君) 此委員モ議長指名デ宜シウゴザイマスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 國字國語國文ノ改良ニ關スル建議案、辻新次君外
二名發議、會議、前會ノ續、特別委員長報告

(特別委員修正案)

國字國語國文ノ改良ニ關スル建議

我カ邦文字言語文章ノ錯雜難澁ナル世界其ノ比ヲ見サル所ナリ今ヤ我カ邦
ハ國運ノ進歩ト共ニ百事複雜ニ趨キ最智識ノ増進普及ヲ要スルノ時ニ當リ
テ此ノ錯雜難澁ナル文字言語文章ヲ以テ世界ノ競争場裏ニ馳騁セムトス國
力ノ發達人文ノ進歩ヲ阻滯スルコトコレヨリ大ナルモノ莫カルヘシ加之ナ
ラス教育ニ從事スル者皆實際ニ其ノ學習ノ困難ヲ經驗シテ常ニ其ノ教授ノ
方法ニ苦心セリ又學生生徒ハ此ノ學習ノ爲ニ許多ノ時間ヲ費シテ他ノ有要
ナル智識ヲ得ルニ暇アラサルノミナラス更ニ此ノ困難ナル課業ノ爲ニ其ノ
銳氣ヲ消耗シ其ノ發育ヲ障碍セラルルコト甚タ大ナルヲ以テ國字國語國文
ノ改良ハ實ニ一日モ忽ニスヘキモノニ非ス是ヲ以テ從來私人若ハ私團體ニ
於テ此ノ事ニ關シテ銳意企畫セシモノ少シトセス然レトモ其ノ事業タル固
ヨリ國家ノ事業ニシテ啻ニ一人若ハ一私團體ノ決シテ成就シ得ヘキコト
ニアラサルナリ彼ノ和蘭ノ如キ丁抹或ハ獨逸ノ如キ何レモ皆其ノ國字トシ
テ我ニ比シテ優ニ便利ナル「アルフハベツト」ヲ有スルニ拘ラス學者教育家
等夙ニ其ノ綴字法ノ改良ヲ唱ヘ政府亦之ヲ採用シテ遂ニ其ノ改良ヲ成就シ
タリ惟フニ我カ邦國字國語國文改良ノ事タル國家ノ事業トシテ調査討究シ
以テ實行ヲ期スヘキコト刻下ノ一大急務ナルヲ信ス依テ政府ハ速ニ調査會
ヲ設ケ其ノ實行ヲ期セラレムコトヲ希望シ茲ニ之ヲ建議ス

〔久保田讓君演壇ニ登ル〕

○久保田讓君 委員會ノ結果ヲ御報道致シマス、國字國語國文ノ改良ト云フ
コトハ輿論ノ希望スル所デアリマシテ、今日ニ在ッテハ殆ド何人モ異論ガナ
イト申シテ宜イ位ノコトデゴザイマス、私共モ大ニ贊成スル所ノ一人デゴ
ザイマス、從ッテ委員會ニ於キマシテモ此建議案ノ可否ニ附キマシテハ一
モ議論ガゴザイマセヌデ、唯建議ノ主意ガ餘リ圓滿ニ過ギテ居ッテ少シク

茫漠タル感ヲ免レマセヌカラシテ、此末文ノ「依テ政府ハ速ニ之カ適當ナル方法ヲ設ケ實行ナクセラレムコトヲ希望シ」トゴザイマスノヲ改メマシテ「政府ハ速ニ調査會ヲ設ケ其ノ實行ナクセラレムコトヲ希望シ」云々ト斯ウ云フコトニ修正ヲ致シマシテ、建議ノ主意ヲ明瞭ニ致シ、且ツ一層有效ニ致シマシタコトデゴザイマス、抑、此調査會ト申シマスルモノハ昨年既ニ政府ハ計畫ヲ定メテ議院ニ出サレマシタコトデアリマス、先日提出者ノ加藤君ノ演說ニ於テモ此調査會ヲ希望シテ居ラレマシタ、ソレカラ又此頃衆議院ニ於カレマシテモ此調査會ヲ設ケルコトヲ建議致シマシテゴザイマス、ソレデ委員會ニ於キマシテモ斯ノ如キ重要困難ナル所ノ一大事業ハ矢張り調査會ヲ設ケテ和學者ナリ漢學者ナリ洋學者ナリ其他種々必要ナル分子ヲ集メテ十分此改良ノ方法ヲ調査研究セシムルト云フコトハ最も必要デアルト云フ者ヨリシテ斯ノ如ク修正ヲ致シマシタ、政府委員モ出席ニナリマシテ政府ノ意見ヲ尋ネマシタ所ガ、政府ハ固ヨリ其希望デアルト言ウテ直チニ同意ヲ致サレマシタ、之ガ修正致シマシタ要點デゴザイマス、其他ハ皆文章ノ修正デゴザイマシテ別ニ説明スルノ必要モゴザイマセヌ、御一見下サレバ分リマス、又此修正ハ念ノ爲ニ提出者ニモ相談致シマシタガ是モ異議ハナイト云フコトデゴザイマス、委員會ハ全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、政府ニモ異議ガナイ、提出者モ亦異議ガナイト云フコトデゴザイマス、就イテハ斯ノ如キ輿論ノ既ニ必要ト認メテ居ル事柄ニ向ッテ成ルベク政府ナシテ實行ナクセシメタイト存ジマス、願ハクハ滿場諸君ノ贊成ヲ以テ速ニ可決ニナルコトヲ希望致シ近ス此段御報告ヲ致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 委員會ノ修正ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ可決ト認メマス、本日ノ議事日程ハ是ニテ終リマス、御委託ニナリマシタ特別委員ノ氏名ヲ御報道致シマス、

〔太田書記官長朗讀〕

感化法案特別委員

伯爵吉井 幸藏君 子爵仙石 政固君 子爵松平 乘承君

子爵松平 康民君 三好 退藏君 村田 保君

高木 兼寛君 中島 永元君 得崎 武吉郎君

社寺上地林處分法案特別委員

子爵谷 干 城君 子爵堀田 正養君 岡内 重俊君

男爵本田 親雄君 西村 亮吉君 馬屋原 彰君
武井 守正君 飯島 武之助君 野村 恆造君
混成酒稅法中改正法律案外一件特別委員

子爵長岡 護美君 子爵高木 正善君 子爵板倉 勝達君
辻 新次君 男爵伊藤 篤吉君 男爵有地 品之允君
男爵吉川 重吉君 谷 森 眞男君 松木 彦右衛門君

登錄稅法中改正法律案特別委員

伯爵德川 達孝君 子爵井伊 直安君 子爵内藤 政共君
子爵久留島 通簡君 柴 原 和君 南郷 茂光君
森 山 茂君 小幡 篤次郎君 高橋 喜惣治君

明治二十二年法律第三十四號中改正法律案特別委員

子爵曾我 祐準君 子爵内田 正學君 子爵本莊 壽巨君
子爵丹羽 長保君 三浦 安君 名村 泰藏君
村田 保君 久保田 讓君 野口 聚君

○議長(公爵近衛篤磨君) 明日ノ日程ハ追ッテ御報道シマス、本日ハ散會

午前十時三十三分散會